

魚津の若者紹介

YOU

YOUTH OF UOZU

Vol.4

2018 January



未来をつくる若者

表紙：銀林 愛(新川高等学校 n.club)

現役高校生が

商品開発！

新川高等学校 n.club

誰もが思わず手に取ってしまうようなインパクト抜群の商品「米騒動つけ麺 母ちゃんの怒り味」。魚津産業フェア「〇〇魚津」でも大好評だったこの商品を開発したのは、なんと高校生！今回は、米騒動つけ麺の開発・販売を行った新川高等学校コミュニティビジネス部(n.club)の渡邊健斗さん、篠塚美羽さん、尾山葉月さんの3人にお話を伺いました。

皆から”社長”と呼ばれる部長の渡邊さん(2年生)。n.clubに入ったきっかけは、前身であるコミュニティビジネス委員会に所属していた



「米騒動つけ麺 母ちゃんの怒り味」



親からの勧めだったそうです。もともとはPTA活動の一つでしたが、昨年の4月から生徒主体の部活動へ変化。「保護者に頼れない中、自分た



左：尾山さん 中：篠塚さん 右：渡邊さん

ちですべての活動をしなければならず大変だった」とのことでした。1年生の篠塚さんが部活に入ったきっかけは、「他の学校にはない活動に興味を持ったから」。そんな篠塚さんの姿を見て、同級生の尾山さんも入部を決心したそうです。



さて、〇〇魚津で初のお披露目となった米騒動つけ麺ですが、売れ行きはどのようなのでしょうか。部長の渡邊さんは、「〇〇魚津では、目標を超える500個を販売しました。平成30年は米騒動から100周年を迎えるので、これを機に〇〇魚津以外でも売りたいです。现阶段ではまだ未定ですが、市内観光地や駅、SAなどで販売できるといいですね。最終的には、ネット販売にも」と、順調な様子。また、それ以外の活動については、「インスタ映えのする、かわいいスイーツを作りたい」と篠塚さんが、「食べ物ではなく、木製品とか。リサイクルした製品を売ってみたい」と尾山さんが、それぞれ語ってくれました。今年の活動からも目が離せませんね！

◆n.clubとのタイアップ企業を募集中

高校生たちに力を貸してくれる企業を募集しています。

お問い合わせは、新川高等学校まで！

TEL 24-2015 (顧問：濱元先生)

外国人技能実習生

漁師として

今は日本で修行中！

昨年4月にインドネシアから「外国人技能実習生*」として来日し、魚津水産(株)で勤務するアンドレアスさんを紹介します。

*外国人技能実習生は、外国人技能実習機構の「技能実習制度」により魚津漁業協同組合(監理団体として申請)が3年間(最長5年間)の受入れを行っている。現在、魚津市内に21名が在籍。



日本に来て、1ヶ月間の研修のあと5月から魚津水産(株)での勤務が始まった。船で漁に出たり、荷揚げや選別などを行っている。親が漁師をしており、今は「日本で修行だ」と思っているとのこと。

【1日の流れ】

0:00 起床

0:50 迎いの車に乗って出社(漁や選別)

7:00頃に帰宅し朝食、
その後はプライベート時間

美味しい魚を
獲る！



アンドレアス
オブリエンさん(19才)

魚津の印象は、「大変寒い！こと」と、色々な方から優しくしてもらっているとのこと。また食べ物が美味しく、太ってしまったそうです。

仕事では、他に2人が在籍し、3艘に1人ずつ分かれて働いています。初めは大変だったそうで、こんなに寒いのか…と感じていたが、今では慣れた様子。しかし、これから雪や、冬の海がどのようなものなのかを体験する。また「方言」も難しかったことの1つとのこと。何を言っているのか分からないこともあるが、1つひとつのことをしっかり覚えていきたいとのこと。

プライベートな時間では、17名の仲間と一緒に生活し、当番を決め料理を作ったり、ビデオコール(テレビ電話)で両親と話したり、彼女と会話を楽しんでいる人もいます。また、ギターを弾きながら歌ったり、ありそドームでサッカーを楽しんだり、去年は地区運動会やたてもん協力隊にも参加しました。大好きなアニメを見ていると日本語の勉強になったりもしているとのこと。



右：アンドレアス オブリエンさん(19歳)

中：ノア エマヌエルさん(20歳)

左：ヨギ ブラボウォさん(19歳)

2018年の目標(抱負)は、とにかく仕事を頑張ること、日本を旅行してみたいです。2月には会社の旅行で温泉に行くそうで、初めての温泉を楽しみにしているそうです。

まだまだ覚えることが沢山あると思いますが、魚津水産(株)の方々から様々なことを学び、日々美味しい魚を獲り、3年後、5年後にたくましい成長を遂げて欲しいと願っています！

ワールドカップ

銀メダル!!

高見さんは「第9回キンボールスポーツワールドカップ 2017 東京大会」に出場し銀メダルを獲得しました。キンボールとは直径122cm、重さ約1kgのボールを使用し、4人1組の3チームがヒットとレシーブを繰り返



返し得点を競うスポーツです。決勝ではフランスを圧倒し8連覇中のカナダをあとも一步まで追い込みました。

舟橋村出身の高見さんは、小学校5年生の時にスポーツクラブでスタッフをする母に誘われキンボールを始めました。現在は地元のビッグサンダーというチームに所属し、舟橋村の体育館で週4日2～3時間みっちり練習をしています。

キンボール日本代表の高見さん



高見 優利子さん(21才)

高見さんが初めて日本代表に選出されたのは2016年のアジアカップです。日本チームは優勝しましたが、決勝の舞台に立つことは叶わず、悔しい思いをしました。その悔しさを胸に練習に励みます。高見さんが得意とする移動攻撃を日本代表に取り入れました。代表合宿で何度も練習を重ね日本チームの攻撃力を高めました。その結果、ワールドカップでは日本代表12名の内、先発メンバー4名の一人として決勝の舞台に立つことができました。代表最



日本の中心選手として活躍しています。好きな言葉は努力。「自分が納得できるかどうかは努力次第。練習をサボることは絶対に嫌」と言い、その努力する才能が高見さんの成長を支えています。

また、2017年4月から保育士として青島保育園に勤務しています。小学生の頃から保育士になるのが夢だったそうです。ワールドカップの



出場にあたっては壮行会が開かれ、園児から熱いエールをもらいました。アスリートの強い眼差しとは異なり、子どもと接する時は柔らかな笑顔が輝いています。

今後の目標を「第10回ワールドカップフランス大会で金メダルを取ること」と言い切ります。保育士とアスリート両方の顔をもつ高見さん。魚津、富山、そして日本の顔として今後の活躍に期待です。

～世界を旅した

カレー屋さん～

Q.『SLOW LIFE』を始めたきっかけ

もともとバックパッカーとして世界を旅していて、インドに行ったときに現地で本場のカレーの作り方を学んだ経験を活かしてお店をしたいと思っていました。富山に戻って来た時に、たまたま友人に連れてきてもらったのがこのお店でした。何度か通っているうちに、お店を閉じると聞いたので後を引き継ぐ形でオープンしたのがきっかけでした。

Q. 魚津でお店をやってみて感じたこと

オープン当初は雑誌の取材を少し受けたぐらいで、FacebookぐらいしかPR活動はしていないのですが、いつの間にか自分と趣味（波動）が合う人が集まってくるようになり、最近はいろんなイベントも開いたりして楽しんでいます。



SLOW LIFE



『SLOW LIFE』

店主 佐野 慶人(36才) 高岡市出身

バックパッカーを経験しているからか、特に大変だと思うことはなく、最近はバンドを組んだり、講演を依頼されたりと、やりたいことをやれているので毎日楽しいです!

Q. 2018年はどんなことをやりたいか

もっと子供達に夢を持ってもらえるような活動やイベントを企画してみたいです。このお店を拠点に、人と人が出会って、その人の人生が豊かになるようなことに貢献していきたいです!

Q. 魚津に来てみて感じたことは?

とにかく海と山が近くて、自然環境が凄いい!前に住んだことのあるカナダのバンクーバーに似ていると感じました!そして人がみんな優しいですね!

Q. 最近の趣味はありますか?

今までにワーキングホリデーでオーストラリアとカナダに1年ずつ住んだり、バックパッカーとして世界55か国ぐらいを旅してきました。これからもいろんな国を旅してみたいですね。1月～2月の間はお店をお休みしますが、今後ともよろしくお祈りします!



SLOW LIFE

魚津市吉島 793
☎080-4251-3701
営業時間
11:00 ~ 18:00
定休日: 水曜日

子どもも喜べる場所、 子育て世代が楽しめる 場所を！

昨年6月にブルーベリー農園をオープン。初シーズンを終えた向中野さんご夫婦にお話を伺いました。

Q. この仕事を始めたきっかけは…？

一番大きいのは子どもが生まれたこと。父が自分にルーツなどを伝えてくれたことを振り返り、自分は子ども



に何を伝えられるだろうかを考えたとき情報量の高い、五感を使ったような「実体験を」と。それが「農業」だった。



子どもをブルーベリー摘みに連れて行ったとき「美味しい、美味しい」と喜んで食べている姿にこれだ！と感じたとのこと。子どもも喜べる場所、子育て世代が楽しめる場所、そういう場所が魚津にあったら面白いなと思って。また魚津市にはブルーベリー農園がなかったことも“ブルーベリー”を選んだ理由のひとつ。農園オープンまで4年。元市役所職員の

むかいさんちの農園

向中野
芳和さん
(38才)



真理
子さん
(38才)

向中野さん、「主人にも自分の好きなことをしてほしい、人生は一度限り、後悔はしてほしくない」と家庭を守り、支えてくれた奥様の存在も大きい。このとき2人目を授かり、農園と同じ年を重ねていく。

Q. 仕事への思い、シーズンオフの仕事は…？

最初は30cmくらいの苗木が今は150cmくらいになっている。この成長が嬉しく、もっと大きくしたい、もっと実を成らせたいと意欲も高まり、喜びも感じる事ができる。果樹は自分たちと一緒に育っていく感じ、自分たちも魚津と一緒に少しずつ大きくなっていけたらと思う。また、挿し木という果樹ならではの増殖方法、農家的な要素も伝えていきたい。

シーズンオフの仕事内容については、①草むしり②ブルーベリーの木の状態をチェック、見回り③ハウスの修理④剪定⑤枝をポット周りの支柱に固定する作業など。

Q. 今後の目標(H30年の目標)は…？

さらなる飛躍の年にしたい。昨年よりも楽しんでもらえる様に！例えばブルーベリー摘み以外の体験もできる農園に(*_*)。新しい取り組みにも挑戦したいとのこと！



Q. 趣味は…？

基本的にインドア派・家が好き。SNS・ブログの更新や日曜大工が趣味。一から作ることが好きで、自分でできるところまではやってみたい。家の配管の手直しや農園のハウスの組み立



て、防鳥ネットの設置などできることはできるだけご自分でされるとのこと。仕事にも活かされている。



住所：富山県魚津市吉野 549-1
HP：http://mukainakano.com
✉：work@mukainakano.com

今シーズンは6月下旬～8月下旬

『YOU』制作委員大募集！

4月から取材や編集をしてくれる方を募集します。委員は概ね18歳以上 35歳未満の方で、取材・編集の経験は不問です。また、こんな面白い方がいるよ！という情報も募集中です。

下記の連絡先まで、気軽にお問い合わせください。

制作：うおづ屋

高瀬 康太、井出 寛子、井口 健太郎

石崎 功一、牧野 健太郎、南部 歩美、林 広夢

連絡先：魚津市教育委員会 生涯学習・スポーツ課

TEL/0765-23-1045 MAIL/learning@city.uozu.toyama.jp

2018年1月発行

